

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）

平成 22 年 12 月 1 日

計画の名称	笠松町における循環のみちの実現							交付対象	笠松町	
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）									
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道処理人口普及率を83%（H21末）から91%（H27）に増加させる。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
				当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H25末)	最終目標値 (H27末)				
①下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）				83%	88%	91%	※H23当初現況値は、H21末の値を使用。			
全体事業費	合計 (A+B+C)	790百万円	A	658百万円	B	- 百万円	C	132百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	16.7%

交付対象事業

A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
木曽川右岸処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	松枝処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=8.23km、A=53.4ha	笠松町						258.5	
A1-1-2	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	笠松南処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.09km、A=0.3ha	笠松町						1.3	
A1-1-3	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	笠松北処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.08km、A=0.4ha	笠松町						1.7	
A1-1-4	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	金池理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.66km、A=4.1ha	笠松町						33.8	
A1-1-5	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	円城寺処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=1.59km、A=15.2ha	笠松町						110.5	
A1-1-6	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	下羽栗処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=3.95km、A=22.4ha	笠松町						112.6	
A1-1-7	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	米野処理分区面整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.54km、A=2.1ha	笠松町						11.0	
A1-1-8	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	北門間汚水幹線（未普及解消）	φ300mm、L=0.28km、A=1.6ha	笠松町						59.1	
A1-1-9	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	北及汚水幹線（未普及解消）	φ250mm、L=0.28km、A=1.7ha	笠松町						62.7	
A1-1-10	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	汚水	新設	下門間汚水幹線（未普及解消）	φ250mm、L=0.01km、A=0.1ha	笠松町						1.6	
A1-1-11	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町		全種	効率的な事業実施のための検討	検討資料作成 一式	笠松町						5.0	
小計（下水道事業）														657.7			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

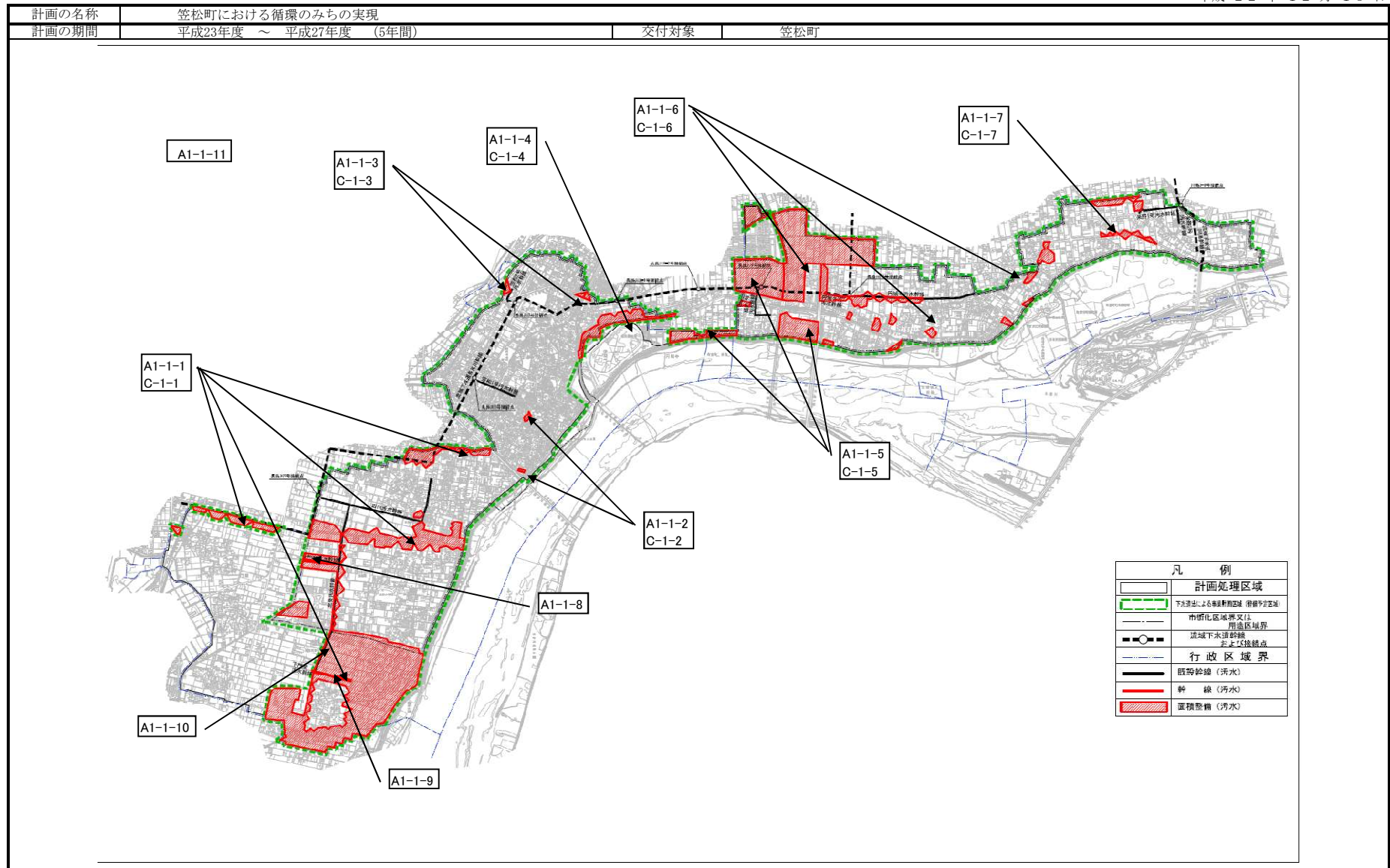
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
----	----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
木曽川右岸処理区																	
C-1-1	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	松枝処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=2.0km、A=13.3ha	笠松町							64.6	
C-1-2	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	笠松南処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.02km、A=0.1ha	笠松町							0.3	
C-1-3	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	笠松北処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.02km、A=0.1ha	笠松町							0.4	
C-1-4	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	金池理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.16km、A=1.0ha	笠松町							8.4	
C-1-5	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	円城寺処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.40km、A=3.7ha	笠松町							27.6	
C-1-6	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	下羽栗処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.99km、A=5.5ha	笠松町							28.2	
C-1-7	下水道	一般	笠松町	直接	笠松町	新設	米野処理分区枝線末端管整備（未普及解消）	φ150～200mm、L=0.13km、A=0.5ha	笠松町							2.7	
合計														132.3			

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
C-1-1	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-2	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-3	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-4	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-5	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-6	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														
C-1-7	基幹事業である主たる管渠工事と接続した枝線末端整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。														

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

平成 22 年 12 月 15 日



社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称: 笠松町公共下水道事業 _____

都道府県名: 岐阜県(笠松町)

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	○
②下水道に対する各自治体の課題への対応	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②期待される事業効果	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境	○